

日時	開演	場所	会場	公演名	出演者	主催・企画	後援	入場者数
2014年 平成26年		釜石市		音楽のおくりもの	日本フィルハーモニー 父響楽団メンバーによる 弦楽四重奏	三菱UFJニコス 日本ユネスコ協会連盟		人
7月14日	①11時40分		唐丹中学校					
	②15時30分		小佐野公民館					
7月15日	③13時30分		旧釜石商業高校					
	④18時		カトリック釜石教会					
7月16日	⑤11時 ⑥14時		鶴住居小仮設体育館 栗林小学校					

復興釜石新聞2014年7月5日掲載

日本フィルハーモニー交響楽団(東京都杉並区)のメンバーで構成する弦楽四重奏コンサート「音楽のおくりもの」が7月14日から16日まで、釜石市内6カ所で開かれる。同楽団は震災後、「被災地に音楽を」と銘打ったプロジェクトで楽団員を各地に派遣、小中学校や仮設住宅で演奏会を開いてきたが、釜石では初めて。プロによる本格的な演奏で、被災者らにひとときの心の安らぎを感じてもらおうと思いを込める。同楽団は1956年創立。震災発生直後の2011年4月、福島県(郡)のメンバーで、この避難所でミニコンサートを開いて以来、これまで被災3県の仮設住宅や学校、高齢者介護施設など約140カ所を回り、音楽を届けてきた。

震災を「忘れてはいけない」と心に刻みながら被災地に音楽を送り続けている同団の活動に共感したクレジックトカード大手の三菱UFJニコス(東京都千代田区)が2012年から5月まで45会場でのコンサートに協賛している。

**日本フィル弦楽四重奏メンバー
被災地へ音楽のおくりもの
14~16日 市内6カ所でコンサート**

今回は日本ユネスコ協会連盟が現地の調整など協力し、釜石でのコンサートが実現した。

来釜するメンバーは、バイオリンが遠藤直子、坪井きらら、ピオラ高橋智史、チェロ中務幸彦の4人。エルガー「愛の挨拶(あいさつ)」、サン・サーンス「白鳥」などのほか、「荒城の月」「見上げてごらん夜の星を」など日本の名曲も演奏する。

14日は午前11時40分から唐丹中学校体育館、午後3時から小佐野公民館、15日は午後1時半から旧釜石商業高校体育館、同6時からカトリック釜石教会で、16日は午前11時から鶴住居小・釜石東中仮設体育館、午後2時から栗林小学校体育館で開く。

入場は無料。小中学校体育館では児童生徒のほか、近隣の住民も入場できるが、駐車場がないため、公共交通機関の利用を呼びかけている。

問い合わせは小佐野公民館(電話0193・23・5007)へ。

見学

NPO法人ガバチョ・プロジェクト
スタッフ
山崎眞行
山崎詔子
田中健悦

復興釜石新聞2014年7月5日掲載